



すみだモダン 2010-2018 商品部門

伝統の技にモダンな風を吹きこむ職人がいます。
使う人のことを思い、ひたむきに創意工夫を重ねる工場があります。
ものづくりのDNAを次世代へ届けるために。
東京墨田区では2010年から「すみだモダン」のコンセプトに
合致したクオリティの高い商品をブランド認証してきました。



1 鎌かんざし



2 名刺入れ 蝋の息吹



3 マグネット 日本お持ち帰り

草花をかたどり魔除けとして身につけたのが、かんざしの由来。花が本当に咲いているように、蝶が飛び立ちそうに見えるか。4代目かんざし職人が、江戸から就く技で自然の美を表現。

[かぎり工芸三浦]

墨を使用して模様を打ち込む日本古来の伝統の技で神社・神具などの金具を製作する塙澤製作所。「波に千鳥」「北斎とんぼ」どちらも金属に彫り込まれたとは思えないほど美しい織錦な模様。百年、使い継いでいる名刺入れ。

[墨田区ものづくりコラボレーション事業2009開発商品]

[有限会社塙澤製作所]



4 江戸小紋 着尺【駒小紋】・訪問着【駒柄】

貴沢を禁止された時代に、一見控えめで実は細やかで複雑な模様の江戸小紋で、人々はお洒落を楽しんだという。大松染工場は1万以上の型紙をデータ化し、江戸小紋を伝承する取組みも行っている。

[有限会社大松染工場]



5 御詫え足袋

めうやは慶応3年(1867年)創業の足袋専門店。ひとりひとりの足の形や動きまで考えて微調整しながら一足一足丁寧に説教するオーダーメイドの足袋は、足に吸いつくようにフィットする。

[向島めうやは]



6 江戸木箸 五角・七角・八角削り箸

厳選された銘木を使い、一本ずつ手で削ってつくる箸。五角・七角・八角から自分の手に合うタイプを選ぶ。箸は食と人をつなぐ大切な道具。細かい料理もつまみやすく、食べることが楽しくなる箸である。

[有限会社大黒屋]



7 おとも箱

おとも箱は携帯用薬入れだった印籠を現代風に再現した小物入れ。釘などを一切使わず、1本の角材をくり抜き木の感触と木目を活かしている。アクリルなどを入れて持ち歩くと可愛らしく、着物姿の所作を美しく見せる。

[指物益田]



8 江戸木目の人形 [小梅雛]

小梅雛は、古代布と呼ばれる江戸、明治、大正時代の織物地を使用した一点物の人形。初代創業は170年前。伝統の素材や製法を大切に、昔の着物ならではの織錦な柄や風合いを小さな人形に活かしている。

[益田工房]



9 RAKUZA

柄を愛する職人がつくったフリリ軽い椅子。片手で持ち運べ、角が丸いので座り心地もいい。ジョイント部分に用いられているのは織ホゾ組という伝統技術。

[株式会社二葉柳工房]



10 ベッ甲の耳搔き

高度な技法を三代に渡り継承する職人がつくった耳搔き。ベッ甲はタンパク質なので肌あたりが柔らかい。手作業でさじ部分の丸みをつくり、使いやすいよう柄を長く仕上げている。鈴色の甲羅模様に江戸の美が見える。

[株式会社職員べっ甲専門店]



11 合曳

釘を使わずに木をびたりと組み込む指物技法による正座用の小さな腰掛け。脚を取り外し畳めば手軽に持ち運べる。江戸指物に惹かれた若手職人の精緻な技。桜の古材を使い、モダンなテイストで仕上げている。

[指物益田]



12 自分で作るからくり屏風キット 北斎繪

からくり屏風は、開くたびに違う絵があらわれる不思議な屏風。このキットは組み立てながらその謎を解明できる。北斎の4つの作品を楽しむことができるが、好きな絵や写真を貼って飾ってもいい。

[墨田区ものづくりコラボレーション事業2010開発商品]

[株式会社片岡屏風店]



13 「漆モダン™」
和紙コースター

「うるわし」という言葉に由来する漆は“japan”と呼ばれ世界でも賞賛されている。すみだをイメージし鉄塔のフォルムと川の流れを表現した和紙コースター。漆でコーティングしているので水に強く何度でも使える。

[安宅漆工店]



14 静電気除去ブラシ

電子機器の故障の原因になりやすい静電気をサッと手軽に除去できるブラシ。ひと束づつ手で補えた静電気除去繊維と鋼板で放電する構造。祖父の代から続く伝統の手補え技法で、時代のニーズに応えている。

[株式会社宇野刷毛ブラシ製作所]



15 “SHOUBI” coat
[匠美コート]

冬に着る鶯の半纏を進化させたこのコート、中綿は先進の軽量防寒素材を使い、襟とボタンは洋風に仕上げている。歌舞伎衣裳も手がける染工場が、伝統を守りながら機能性も追求。

[株式会社石山染交]



22 kazari earrings basic

かざり工房しおざわは、御真などの鍍金具をつくる技を現代に受け継ぐ。約1,500種もの型（金属に模様を打ちこむ型）から文様を選定、ピアスをデザインした。脈々と続く職人技と日本古来の意匠に、新たな息吹が宿る。

[墨田区ものづくりコラボレーション事業2019開発商品]

[有限会社塙澤製作所]



23 ボディブラシ

肌を柔らかくなる山羊の毛、馬のたてがみ、尻尾毛。人の肌は自然のものだから、洗う道具も自然の素材にこだわりたい。宇野さんがつくるボディブラシは、ゆっくり深く呼吸をしているようだ。肌の内面にもやさしさを与えるボディブラシ。

[株式会社宇野刷毛ブラシ製作所]



24 桐屋田中
桐の軽量椅子＆テーブル

軽量な柄素材は、高齢者の暮らしに役立つはずとの考えから作られた。この椅子とテーブルは、通常の木材の半分程度の軽さ。座面は表面を焼いた時代仕上げ、伝統のホゾ加工で組み立てている。機能性に加え心まで満たしてくれる椅子とテーブル。

[株式会社タナカ]



16 Kimekomi 絹絵
北斎故様

柄に絵で絵を描く。堀田工房六代目の堀田さんは、木目込人形の伝統技法で新しい作品を生みだした。萬能北斎が描いた模様が、柄の上で花開く。Kimekomi絹絵は、すみだの木工職人「指物益田」「二葉桐工房」とのコラボレーションによる。

[堀田工房]



17 鎔画鉢

「2万種以上ある家紋と、神社などの装飾で千年を超える伝統を持つ鍍金具を次世代へ残げたい。」直径1cmの愛らしい画鉢は鍛職人の塙澤さんの想いから生まれた。柄箱には代々家を守ってきた家紋のいわれも書いている。

[墨田区ものづくりコラボレーション事業2012開発商品]

[有限会社塙澤製作所]



18 昭和モダン蒔絵
帯留・ブローチ（輪）・バングル

ご夫婦で骨董店を経営している井上さんは昭和初期のモダンなデザインに惹かれ、蒔絵作品をつくりはじめた。現代女性に似合う、大人の遊び心あふれる和小物だ。トランプなどレトロな模様が漆と金銀粉で描かれている。

[K's]



25 スマホスタンド

海外からの旅行客にも、日本古来の手技を伝えたい。そんな想いから誕生した木目込のスマホスタンドは和布の彩りが美しい。木目込とは人形づくりの伝統技法。フォルムは運か昔、隅田川岸から眺めた富士山の風景をイメージしてかたどった。

[堀田工房]



26 一文字提灯

一文字で意味をあらわす漢字は外国人にも人気があり、日本でも思いいののある一文字を持つ人は多い。江戸文字で描かれた一文字提灯は、幹な贈り物。江戸文字とは「運気が上がるよう」などの願掛けを務めた江戸春体の総称。

[アトリエ創藝館]



27 都鳥箸置き

およそ200年の歴史を持つ名園・百花園。園内には江戸時代、焼き窯が存在した。庭園に集まつた文人墨客は、隅田川の土で焼った器が焼きあがるまで花木を見て過ごしたという。この箸置きは当時を伝えるものとして50年ほど前に復刻された。

[茶亭さはら]



19 江戸バッグシリーズ
“江戸かたばみ”



20 本漆し塗りマグカップ



21 趣向裂カード入れ 蓋付き

歌舞伎の衣裳生地「正絹浜袖」に、子孫繁栄の吉祥文様である「かたばみ」を手描き灰桟で染め、金糸銀糸の日本刺繡を施した。持ち手の粗糸も別織りで製作したクオリティの高いバッグ。内ポケットや上部カバーも使いやすい。

[墨田区ものづくりコラボレーション事業2011開発商品]

[株式会社石山染交]

漆蒔絵は、世界に誇る伝統文化だ。安宅さんは歴史ある建物も手がける漆職人。日常の中で、気軽にふだん使いできる本物をつくろうと考えた。手に取るとふわりと軽く、漆の持つ重厚感ある色と艶、やさしい温もりが魅力。

[安宅漆工店]

[前川表具店]



すみだものづくり百科 [1]

【家内工業】瓦師、金彫師、刷毛師、足袋師、人形師。江戸時代からすみだは多種多様な職人が暮らす家内工業のまちだった。

【近代工業】武家屋敷跡の敷地、失業した武士の労働力、水運・陸運の利便性といった背景から、明治維新後すみだは近代工業の集積地に。

【洋風化】生活の洋風化から、明治時代に洋服、マッチ、石けん、時計、ビルなどの生活品産業が興る。さまざまな有名メーカーがこの地から生まれている。

【萬能北斎】ものづくりのまちを愛した北斎は、生涯のほとんどをすみだで暮らした。2015年には「すみだ北斎美術館」が開館。



28 箸置き「TAGANE」



29 力士ペーパーウエイト



30 雅ブラシ

梅・桜・七宝などの吉祥文様。五個一組の箸置きの中に、裏面の模様がないものをひとつ潜ませる幹。完成すると下り坂になるので、あえて未完成にするという古来の歴史に由来するといふ。穂められた物語も合わせて、誰かに贈りたくなる。

[有限会社滋源製作所]



31 久米織維謹製 色丸首



32 すまいるスイムシリーズ

日本製Tシャツの先駆けである「色丸首」を伝統と現代の手法で復刻。縮花から収録した上質な生地。和の色彩。Tシャツ製造に半世紀の歴史を持つ久米織維による紳士のための極上の一枚。

[久米織維工業株式会社]



34 Oeuf [ウフ]

33 北斎シリーズ

葛飾北斎の絵を色鮮やかに再現したステーショナリー。素材はなめらかで軽いすみだ産ビッグスキン。天然成分でなめし、排水・腐葉物も環境に配慮して処理している。

[株式会社サクラワクス]

35 IKIJI
[ボロシャツ]

IKIJIは、江戸時代のものづくりを継承するすみだ発の共同ブランド。「いわれ柄」をモチーフに江戸の神、遊び心を表現している。

[精巧株式会社]



36 革風呂敷

風呂敷は1枚の布に物を包んで持ち運ぶ、日本独自の「風呂マチ」技法。精密な型紙と直線の間隔を均等に保つ職人技だ。お札や名刺を入れしやすい財布と名刺入れ。

[株式会社二宮五郎商店]

37 風琴マチシリーズ
[エコテックス100]

側面のマチがアコーディオンのように伸縮する日本独自の「風呂マチ」技法。精密な型紙と直線の間隔を均等に保つ職人技だ。お札や名刺を入れしやすい財布と名刺入れ。

[株式会社二宮五郎商店]



38 SPIDER

革の端材やしわのあるネック部分を再利用。38のバーツを統一させ、美しい一足に。滑らかな表面の仕上りは、長年積み重ねた技術の結晶「スコッチグレイン」ブランドの製法。端材活用というエコロジカルな発想を斬新なデザインへと昇華。

[フットマーク株式会社]



39 うきうきシャツエプロン

「介護®」という言葉を世に送り出したフットマーク。さまざまな装いと合わせていただける食事用エプロンには介護される方に外出の機会をふやしていただきたいという想いが込められている。

[フットマーク株式会社]

40 INDUSTYLE TOKYO
ドレスシャツ

一見ワイシャツだが、実はしなやかなニットのシャツ。皮膚の動きを分析して考案した「動体裁断®」は宇宙船内服にも採用されたオリジナル。腕を上げても襟が上がりらないのが特長だ。高い縫製技術と画期的な型紙から生まれた商品。

[丸和織工業株式会社]

41 “MONYOU”
handkerchief

着物や半纏に用いられる雁木紋、八角つなぎなどの紋様柄を大胆に表現したハンカチーフ。テスト染めを繰り返し、銀葉竹、水波模といった自然で柔らかな古代色を出すことに成功した。

[株式会社石山雅文]



42 Mマークシリーズ

墨田区内で初めて石けんが製造されたのは、明治時代。松山油脂では、現在でもその当時と変わらない「釜焚き製法」の技術と伝統を守っている。※認定は一部商品

[松山油脂株式会社]



43 上質メモブロック

シンプルで存在感のあるメモブロック。伊藤パインダイヤの高度な模製技術による凹凸のない断裁面が美しく、無駄のないデザインが使う人の想像力をかきたてる。上質紙なので書き心地もなめらかだ。

[株式会社伊藤パインダイヤ]



44 プロジェクトペーパー

約30年に渡り日本のクリエイターに愛用されてきたブランディング用紙。いち早く方眼罫を採用するなど、時代に合わせ改良を重ねてきた。現在は環境への配慮と書き心地にこだわり、無着色漂白の上質紙を使っている。

【オキナ株式会社】



45 ORIGAMI FOR CRANE - 折り鶴のためのおりがみ -

1枚の紙から鶴が生まれる感動を広く海外にも伝えたい。そんな気持ちから生まれた商品。円と直線を合わせたモノトーン柄。シンプルだけれど、折る面によって模様が変わる。インテリアにも映える大人の折り紙だ。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2010開発商品
【株式会社 NACAMURA】



46 まとまるくん

消しきずが散らない「まとまるくん」は発売30数年になるロングセラー商品。時代に合わせた商品づくりで、サイズもデザインもバリエーション豊富。ヒノデワシは日本の消しゴム文化を創造するユニークな企業だ。

【ヒノデワシ株式会社】



53 はさみ

医療用はさみの高度な製造技術を用い、一点一点手作業で製作。切れ味、なめらかな動き、耐久性のすべてを備えている。刃向士が吸いつくような切れ味を追求し、角度や隙間を微細に調整。無駄がそぎ落とされた形状に機能美が宿る。

【石宏製作所】



54 てのひらトング

レタス、ブロッコリーから、豆、コーンなどの細かいもの、ドレッシングまで。サラダのすべてをこれ1つで取り分けられる小さなトング。丸く可愛いフォルムが人気。金属なのに柔らかく、力の弱い方でも使いやすい設計。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2009開発商品
【有限会社チバプラス】



55 お皿まな板

まな板が、折り曲げると蝶の形のお皿に。軽く持ち運びやすい機能性は、アウトドアに最適。洗えばまた使えるので、環境にやさしいものうれしい。家庭の食卓で、フルーツなどを切り分けるときにも重宝する。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2009開発商品
【有限会社チバプラス】



47 東京職人

鍛小紋と模様を表裏に合わせた鮮やかな洋傘。骨が多く丈夫な和傘構造。傘職人の手仕事で丁寧に仕上げられている。混雑した場所で少しだけ傘を開く二段開き機能は、「江戸しぐさ」という江戸のマナーから考案したもの。

【株式会社イ・ピー・アイ】



48 銅製如雨露

繊細な盆栽のために、理想的な水やりを研究。素材は殺虫作用のある銅。竿を長く、穴を小さくして、きめ細やかな散水を可能にした。世界中でファンがふえている盆栽。銅製如雨露は海外でも多くの園芸家に愛されている。

【根岸産業有限公司】



49 江戸前すり口醤油注ぎ

60年間、累計2千万本を製造してきたロングセラー。液だれしないタイプを新開発したところ6万本以上のヒット商品に。シンプルさの中に和のぬくもりを感じるやさしいフォルムが、人気のヒミツ。

【岩澤硝子株式会社】



56 東京復刻ガラス 「BRUNCH」シリーズ

1950年代に欧米へ輸出されていた廣田硝子のカタログから、優れた作品を選び復刻。昔から伝わる技術で完成された繊細な模様の檻薄カットグラス。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2010開発商品

【廣田硝子株式会社】



57 花薔薇 大正浪漫硝子シリーズ

同じフォルムのグラスを江戸・大正の技法で表現。写真のグラスは大正時代に流行した乳白あぶり出し技法。ゆらぎある光に日本の硝子づくりの物語が宿る。

【廣田硝子株式会社】



58 革うちわ

サクラワクスは革を加工、製品化する技術を持つ工房。このうちわには、独自の革漉きの技が秘められている。コシ、艶がある牛本革を紙のような薄さと軽さに変身させた極薄の高級本革が、革の可能性を鮮にスタイルッシュに広げていく。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2012開発商品

【株式会社サクラワクス】



50 江戸硝子しょう油差し

創業100年以上になる廣田硝子がつくった、古代色硝子のレトロなしょう油差し。季節の花々を手作業で刻み込んでいる。しょう油を入れると少し黄みがかった硝子に花切子がふわりと浮かび上がり、美しい。

【廣田硝子株式会社】



51 江戸切子【絞と技シリーズ】

日本独自の技法である江戸切子の素晴らしさを日常的に楽しめるモダンなグラス。スタンダードの小瓶から発展した「赤と黒」の配色で、市松紋、六角鏡目紋、亀甲紋という伝統模様を現代風にデザインしている。

【有限会社ヒロタグラスクラフト】



52 和庖刀・洋庖刀

創業慶応2年(1866年)。日本刀に近い製法の和庖刀から製造を始め、代々続く伝統技術を守りながら、切れ味抜群の家庭向け和庖刀や洋庖刀を幅広く創作。

【株式会社正本総本店】



すみだものづくり百科 [2]

【硝子】明治、大正、昭和と運河沿いに硝子工場が立ち並んだ。今も手作りの硝子工場が点在。硝子づくりを体験できる工房も。

【金属】医療など幅広い分野で注目される金属加工技術の高さ。技術を活かし、消費者向け商品を開発する企業もふえている。

【ゴム/プラスチック】工業用を中心に質の高いゴムやプラスチック製品を製造。消しゴムや風船でも歴史ある会社が新しいヒット商品を生みだしている。